

会議録（要点記録）

会議名	令和7年度第1回 社会教育委員の会議 小委員会		
事務局	生涯学習課		
開催日時	令和7年9月30日（火） 午後6時から午後8時		
開催場所	小金井市第二庁舎701会議室		
出席委員	金澤委員、渡邊委員、池田委員、小林委員		
欠席委員	笹井委員		
事務局員	濱松生涯学習課長 最所生涯学習係長		
傍聴の可否	可	傍聴者数	0名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会議次第	<p>(1) 第5次生涯学習推進計画の策定について</p> <p>(2) 今後の日程について</p> <p>(3) その他</p> <p>配布資料</p> <p>資料1 (仮称) 第5次小金井市生涯学習推進計画施策の体系図(案)</p> <p>資料2 令和7年度会議等日程について</p>		

会 議 結 果

(1) 第5次生涯学習推進計画の策定について

① 会議録の作成方法として、全文記録、発言者の発言内容ごとの要点記録、会議内容の要点記録の3つの中から会議内容の要点記録で承認された。

② (仮称)第5次生涯学習推進計画について、施策の体系図を改めて資料のとおり作成し、事務局より以下の内容説明を行った。

前回の9月12日社会教育委員の会議にて、本計画の位置付けや教育目標・基本方針との関係性について、また、施策の体系図については、学びに関して、はじまる、つながる、おくる、ささえるの4つのフェーズに分けて計画推進する旨を説明した。

今回の施策の体系図改定版については、生涯学習の大きな目的であるウェルビーイングの実現を見据え、教育基本法第3条の実施であるあらゆる機会にあらゆる場所において学習できること、またその成果を活かしていく社会の実現をテーマにしていることについて、前回と変更はない。中央教育審議会生涯学習分科会及び第4期教育振興基本計画の概要版や、近年策定された自治体を参考に4つのフェーズを3つのフェーズに分け、見直しをしている。

③ 施策の体系図施策1について、各委員より意見がでた。

- ・ 施策1については、学習機会の提供となっており、学習を受けるだけではなく、主体的に学習するスタイルに変更していくような取り組みが必要なのではないか、学びの探求といった視点が必要でないか。
- ・ 施策1の表記が、学べるきっかけづくりとなっているが、学習はつまらないものということではなく、学習は楽しいものといった学習に楽しさを伝えるといった取り組みが必要である。

④ 施策の体系図施策2についてについて、各委員より意見がでた。

- ・ 施策の2に表記が、つながる支援に充実となっているが、もっと浸透しやすい表現が良いのではないか。
- ・ スポーツを通じた仲間づくり、地域づくりとなっているが、文化の観点は必要ないか。
- ・ 学びの成果の発表機会について、発表するだけで終わりではなく、そのあとにつながる機会が必要ではないか。
- ・ 市報に掲載のあったイベント告知アプリについて、活用できないか。
- ・ 地域で人と人をつなぐ役割が必要「市民協働センター」や「社会教育コーディネーター」を島根県益田市や横浜市など自治体によっては、設置しているところもある。

- ⑤ 施策の体系図施策3についてについて、各委員より意見がでた。
- ・ 相談体制充実の主要事業に女性総合相談は馴染まないのではないか。
 - ・ 地域で何かやりたい人が例えば公園の使用申請方法など相談できる場所がない。
 - ・ 公共施設あり方検討ワークショップに参加した際に、現状の公共施設のあり方から使用目的を定めるのではなく、新しい時代にあわせて再定義が必要ではないか。

(2) 今後の日程について

- ① 事務局より、今後日程について、資料のとおり説明した。
- ② 今回の小委員会での意見を反映した施策の体系図を再度、社会教育委員の会議にて、資料として提出する予定である。